

交野市総合教育会議

資 料

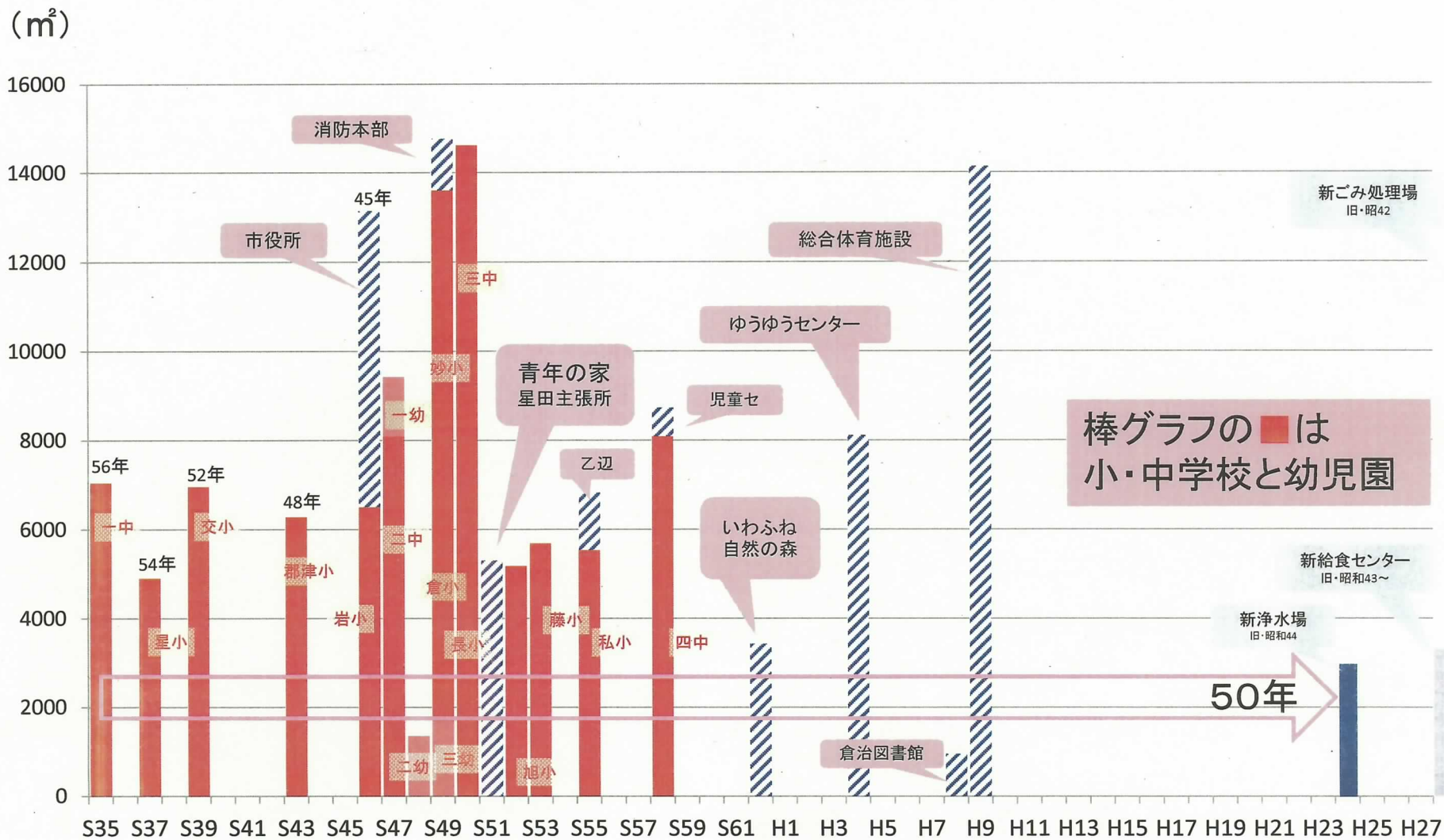
①公共施設の建設年度別延べ床面積

．．． ずっとかたの市長戦略説明会資料（抜粋）

②公共施設の総合管理計画及び学校規模の適正化

．．． 市長戦略（抜粋）

公共施設の建設年度別延べ床面積



(2) 公共施設の総合管理計画

公共施設の老朽化への対応や人口減少から、コンパクトシティを標榜した再配置を計画します

平成 27 年度より固定資産台帳作成に向け市有財産全般の調査、平成 28 年度には、詳細な資産状況評価と将来コストを算出・分析しながら、コンパクトシティも視野に入れた公共施設全般の再配置を含む公共施設総合管理計画を作成します。

☆キーワード
公共施設の老朽化、少子高齢化・人口減少、財源の確保、コンパクトシティ、公共施設の再配置

実施項目	H27	H28	H29	H30	H31	H32
公共施設総合管理計画 (日程イメージ)	固定資産台帳調 書作成 公共施設適正化 準備会	固定資産評価・ 分析 検討委員会 公共施設総合管 理計画作成	⇒	⇒	⇒	第1期 整備事業

現状と課題

市内の学校・庁舎その他公共施設全般の共通課題として、昭和 40 年代の高度経済成長時代に建設された施設が多く一斉に老朽化しており、学校においては児童数の偏りや減少に伴う学校規模適正化など公共施設全般の配置規模の見直しと老朽化対策を早急に対応することが必要な課題となっています。

主な公共施設等（学校施設を除く抜粋）

施設名	建築年度
市役所 本庁	昭和 46 年
市役所 別館	昭和 46 年
第1保育所・幼稚園（あまたのみや幼児園）	昭和 47 年
第2保育所・幼稚園（あさひ幼児園）	昭和 48 年
第3保育所・幼稚園（くらやま幼児園）	昭和 49 年
消防本部	昭和 49 年
星田出張所	昭和 51 年
青年の家	昭和 51 年
乙辺浄化センター	昭和 55 年
第1児童センター	昭和 58 年
いわふね自然の森スポーツ・文化センター（星の里いわふね）	昭和 62 年
保健福祉総合センター（ゆうゆうセンター）	平成 4 年
倉治図書館	平成 8 年
総合体育施設（いきいきランド）	平成 9 年

(3) 学校規模の適正化

少子化や学校の老朽化への対応は、公共施設の再配置と合わせて学校規模の適正化を図ります

児童生徒の教育環境の維持向上と、更なる少子化の影響によるクラス編成への課題、学校の老朽化の課題、小中連携から小中一貫教育への流れ、加えて公共施設全体の老朽化などを踏まえて、平成 28 年度に外部の学識経験者や関係者及び市民を含む検討委員会を設置し、今後の学校規模の適正化について、検討を開始します。

尚、平成 28 年度中に基本方針を定め平成 30 年度を目的に基本計画を定めます。

☆キーワード
児童生徒の教育環境の維持向上、更なる少子化、中1ギャップと小中一貫教育
クラス編成・クラス替え、授業配分と教師の配置、学校施設の老朽化
公共施設全体の老朽化と再配置、コンパクトシティ

実施項目	H27	H28	H29	H30	H31	H32
学校規模の適正化 (日程イメージ)	公共施設適 正化準備会	検討委員会 設置 学校教育 審議会 基本方針	⇒	⇒	地域調整等	第1期 整備事業

現状と課題

平成 17 年度には、小・中学校の児童生徒数 7,437 人であったが、平成 27 年度には、6,711 人と減少し、少子化から、平成 35 年度には 5,423 人程度まで減少すると想定されます。

また、既存校舎については、昭和 40 年代にほとんどが建設されており、今後の老朽化対策が大きな課題となっています。

小学校の児童と中学校の生徒の対象人口予測

年度	H17	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45
小学校児童対象	5,181	4,336	4,254	4,160	4,062	3,986	3,836	3,770	3,577	3,126	2,814
中学校生徒対象	2,256	2,375	2,276	2,208	2,044	1,974	1,922	1,902	1,846	1,685	1,490
児童生徒合計数	7,437	6,711	6,530	6,368	6,106	5,960	5,758	5,672	5,423	4,811	4,304

平成 27 年 7 月末現在の 0 歳から 15 歳人口を基に平成 33 年度までの児童と生徒の対象人口を予測しました。ただし、平成 35・40・45 年度については、国立社会保障・人口問題研究所による予測値を基に算出しました。

既存校舎の設置年度（各学校で一番古い校舎）

学校名	設置年度	学校名	設置年度	学校名	設置年度
交野小	昭和 39 年	妙見坂小	昭和 49 年	第一中	昭和 35 年
星田小	昭和 37 年	長宝寺小	昭和 50 年	第二中	昭和 47 年
郡津小	昭和 43 年	旭小	昭和 52 年	第三中	昭和 50 年
岩船小	昭和 46 年	藤が尾小	昭和 53 年	第四中	昭和 58 年
倉治小	昭和 49 年	私市小	昭和 55 年	—	—

既存校舎の多くが昭和 30 年代から昭和 40 年代に建設されており、これまで耐震化や改修を行ってききましたが、順次に建設から 50 年が経過し耐用年数に達し、大規模な延命措置若しくは建替えの時期にきています。